

北ガスグループ 2019年度 第2四半期決算発表

北海道ガス株式会社

2019年10月30日

2019年度 第2四半期決算の概要

連結、個別ともに売上高は3期連続の増収（過去最高額）、
経常利益は連結で2期ぶりの増益、個別で2期連続の減益。

北ガスグループ(連結)

売上高 545億26百万円(17.3%増)

経常利益 11億63百万円(61.9%増)

()内は、前年同期比較

北海道ガス(個別)

売上高 474億90百万円(17.9%増)

経常利益 3億48百万円(35.7%減)

()内は、前年同期比較

(売上高 内訳)

ガス、LNG販売、電力でのお客さま件数増などにより、各項目で増収。

(単位:百万円)

個別

項目	当期	(構成比)	前年同期	差額	増減率
都市ガス	23,529	(49.5%)	21,494	+2,035	+9.5%
工事・器具他	5,919	(12.4%)	4,505	+1,413	+31.4%
LNG販売	3,553	(7.4%)	3,388	+164	+4.9%
電力	13,503	(28.4%)	10,190	+3,313	+32.5%
その他付帯事業 (LPG等)	984	(2.0%)	689	+295	+42.9%
合計	47,490	(100.0%)	40,268	+7,222	+17.9%

(単位:百万円)

連結

セグメント	当期	(構成比)	前期	(構成比)	差額	増減率
ガス (都市ガス、LNG販売)	26,643	(48.8%)	24,098	(51.8%)	+2,545	+10.6%
電力	13,712	(25.1%)	10,393	(22.3%)	+3,319	+31.9%
エネルギー関連 (工事・器具、LPG他)	13,596	(24.9%)	11,565	(24.8%)	+2,030	+17.6%
その他	574	(1.0%)	437	(0.9%)	+136	+31.3%
合計	54,526	(100.0%)	46,494	(100.0%)	+8,032	+17.3%

ガス

ガスのお客さま件数 (メーター取付数)

新設増、かつ、ガスをご利用いただく用途が拡大。
 5年連続でお客さま件数が純増。

お客さま件数
 (メーター取付数)

580,010件 (+2,247件) ※()内は、前期末577,763件との比較
 開栓数: 495,858件

(単位: 件)

	新設件数	撤去件数	増減
家庭用	5,080	2,846	+2,234
業務用	356	343	+13
合計	5,436	3,189	+2,247

ガス

ガス販売量

お客さま件数増により前年を上回る。

ガス販売量 ▶ 2億1千9百万m³ (前年同期比1.9%増)

(単位:千m³)

		当期	前期	増減	増減率	要因
家庭用		60,939	61,478	▲538	▲0.9%	春先の高気温による暖房需要減
業務用	商業用	82,014	80,254	+1,760	+2.2%	新規ホテルの開業等
	工業用	41,038	39,439	+1,599	+4.1%	前年度の大口物件の本格稼働
	公用	17,427	16,660	+768	+4.6%	お客さま件数増
	医療用	15,039	14,601	+439	+3.0%	お客さま件数増
計		155,519	150,954	+4,565	+3.0%	
卸供給		2,934	2,969	▲35	▲1.2%	気温高による家庭用暖房・給湯需要減
合計		219,393	215,401	+3,992	+1.9%	

電力

お客さま件数・電力販売量

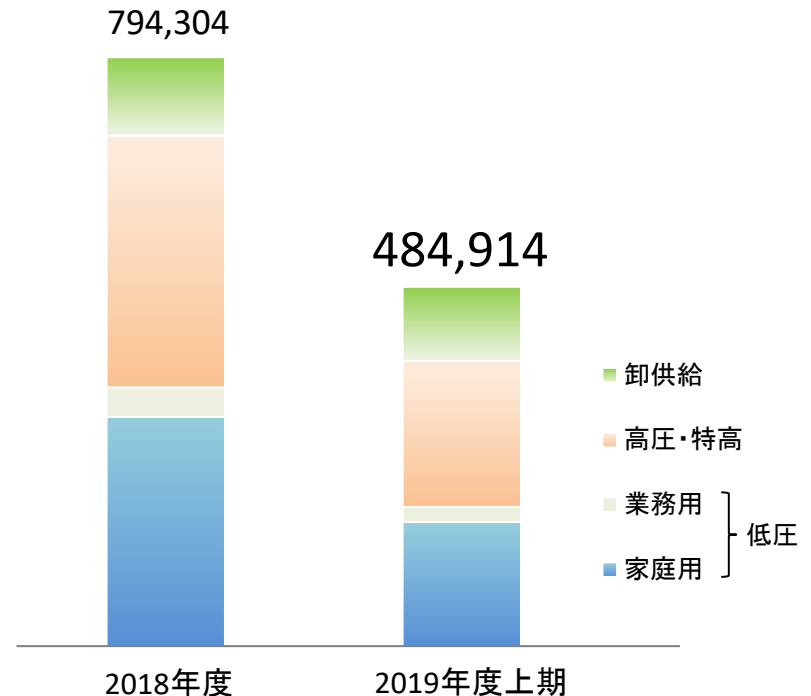
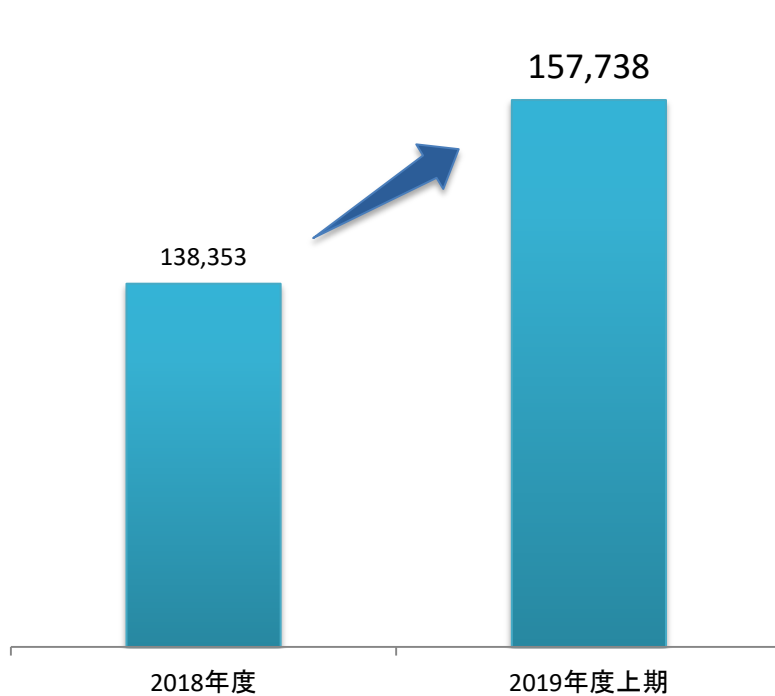
道内の全175市町村（離島を除く）、15.7万件超のお客さまへ供給

お客さま件数 157,738件（前期末比 +19,385件）

電力販売量 4億8千4百万kWh

（単位：件）

（単位：千kWh）



ガス

主な営業活動状況（家庭用）

戸建・分譲集合の新築シェアが好調。天然ガスへの燃料転換も着実に進展。

戸建

- 「エコジョーズ」（＝戸建向けセントラルヒーティング）
 - （新築） **6期連続 シェア90%以上**（見込み） ※札幌地区ガス管敷設エリア内・当社調べ
 - （既築） **エコジョーズ535台獲得**（前年同期比+90台）
 - （新築+既築） **累計 3万8千台 突破**
- 「ガスマイホーム発電」
 - （新築+既築）「コレモ」「エネファーム」実績 **545台**（うち、コレモ 462台獲得）

分譲集合

- 「Fact」（＝マンション向けセントラルヒーティング） ※札幌市内竣工ベース・当社調べ
 - （新築） **6期連続 シェア90% 以上**

賃貸集合

- エコジョーズ・ガス給湯器・暖房機等 ※札幌市内竣工ベース・当社調べ
 - （新築） 北ガスグループ（北ガス+北ガスエネックス）採用 **4,807件獲得**

ガス

主な営業活動状況（業務用）

都市ガス

天然ガス（開発量） 前年同期比134%

都市エネルギー分野

- 既築物件の燃転：LINKS（お客さまデータ）活用による提案

中小口業務用分野

- 既存物件への巡回、お客さまの店舗利用促進

産業用分野

- BCP対応に向けた天然ガスコージェネレーションの提案

LNGサテライト供給

天然ガス（開発量） 前年同期比79%

- BCPのニーズから天然ガスコージェネレーションの採用が決定。
- 省エネノウハウ等を活かし全道各地で営業展開

電力

主な営業活動状況（電力）

全道で15.7万件のお客さまへ供給

営業活動

- フレストの接点機会での営業活動やイベントでのPR

エネルギーサービス

- エネルギーの見える化サービス
* TagTag会員数：40,000件超
- 北ガスポイントの利用先拡大
* 北ガスグルメチケットへの交換
* 三越伊勢丹グループ「エムアイカード」ポイントへの交換
- 卒FIT太陽光余剰電力の買取受付開始
* 買取価格：11円/kWh
* コレモ併設(ダブル発電)の場合：13.24円/kWh



環境広場さっぽろ(8月12日・13日)



室蘭ガスイベント(9月14日・15日)

2019年度第2四半期決算

連結：増収増益 個別：増収減益

	連結	個別	主な要因
売上高	545億26百万円 (17.3%増)	474億90百万円 (17.9%増)	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス・電力のお客さま増加 ・原料価格の上昇による販売単価上昇 ・器具販売、熱供給事業販売量の増加
営業利益	5億90百万円 (10.6%減)	60百万円 (86.8%減)	<ul style="list-style-type: none"> ・原料在庫のマイナス影響 ・熱事業、工事・器具等の増収
経常利益	11億63百万円 (61.9%増)	3億48百万円 (35.7%減)	
四半期純利益	9億75百万円 (3.0%減)	2億77百万円 (79.5%減)	・前年同期は固定資産売却益を特別利益に計上

※連結の「四半期純利益」は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を表す

()内は、前年同期比

連結財政状態・配当

※千万円以下切り捨て。()内は前年同期比増減

	2019年度実績	主な要因など
総資産	1,494億円 (1億円減)	・季節的要因による売掛債権の減少
純資産	477億円 (8億円増)	・当期純利益による利益剰余金の増加
自己資本比率	30.6% (0.5ポイント増)	
キャッシュフロー 営業活動 投資活動 財務活動	68億円の収入 99億円の支出 32億円の収入	<ul style="list-style-type: none"> ・営業活動による収入を札幌発電所建設、導管設備等への投資に充当 ・不足分は期首の現預金に加え外部から資金を調達
配当	[上期]25円 [下期]25円	<ul style="list-style-type: none"> ・上期は、1株あたり25円 ・前年上期は、1株あたり4.5円 (昨年10月1日を効力発生日として5株につき1株の株式併合を実施したため、換算すると22.5円) ・前年上期に比べ2.5円増配、年間では5円増配。

2019年度の業績予想

ガス販売量目標

6億1千6百万m³(対前年6.5%増)

電気目標

累計お客さま件数 17万2千件

北ガスグループ(連結)

売上高

1,300億円

経常利益

42億円

当期純利益

30億円

北海道ガス(個別)

売上高

1,135億円

経常利益

31億円

当期純利益

22億円

業績予想変更なし

(参考)

2019年度の主な取り組み

～ 「総合エネルギーサービス事業」展開に向けた強靱な基盤整備

